

フェイズドアレイシステム



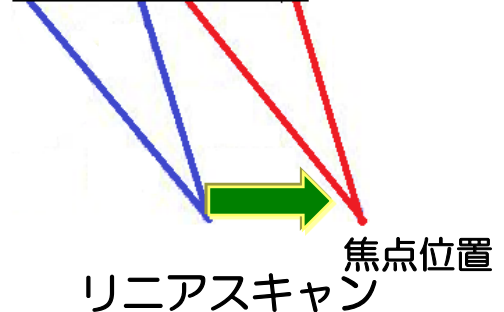
電子スキャンにより被検体内部のきずを可視化

“フェイズドアレイ”とはアレイ探触子の各振動子から異なったタイミングで超音波を送信／受信することにより欠陥の検出、欠陥高さの測定等を行い、被検体内部のきずを可視化表示できるシステムです。

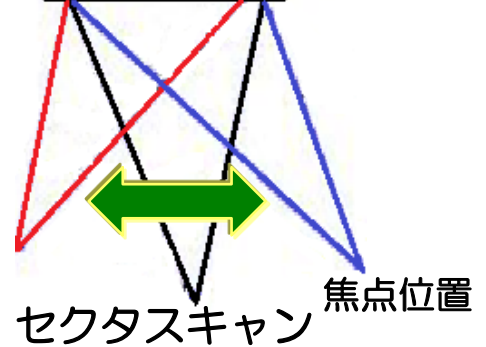
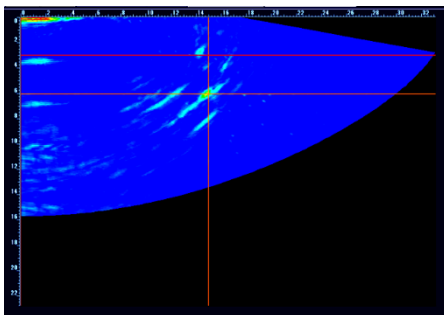


【測定原理】

アレイセンサ



画像データ（例）



フェイズドアレイの特徴

- ①短冊状に並んだ振動子の駆動タイミングを電子的に切り替えることによりビームの屈折角、焦点距離、ビームのスポットサイズを変えることができ入射角及びS/N比最適化できる
- ②一つの探触子でリニアスキャンやセクタスキャンが可能で、一度の操作で複数角度の探傷が可能
- ③上記の機能により、複雑な形状の検査にも柔軟に対応できる
- ④結果が可視画像として得られるため、誰でも直感的にきずの把握ができる
- ⑤探傷データが電子データとして得られるため、探傷波形データ、画像データを再現できるため、結果の見直しが容易となり、再評価が可能